

大会実施要項

【試合について】

- 1 本大会は、2024年度公認野球規則を準用する。
なお、各グラウンドルールについては、試合を担当する球審の指示に従うこと。
- 2 試合は6回戦とし、決勝戦以外は1時間20分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
なお、同点の場合は延長戦を行わず、抽選で勝敗を決定する。
また、3回10点以上、4回以降7点以上の点差が生じた場合は、コールドゲームを適用する。
- 3 決勝戦は6回、若しくは1時間30分とし、1時間30分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
なお、同点の場合は、特別延長戦（継続打順で無死1・2塁）を1回行い、更に同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。
また、3回10点以上、4回以降7点以上の点差が生じた場合は、コールドゲームを適用する。
- 4 投手は、1日70球を超えて投球することはできない。
- 5 ベンチは、抽選番号の若番チームを1塁側とする。
- 6 大会使用球は、マルエスJ号球とする。（試合球は、主催者側で準備します。）
- 7 審判は、3人制で碧南市軟式野球連盟審判員、及び碧南少年野球育成連盟審判員が行う。
- 8 試合を行うチームは、試合開始時間の40分前までにグラウンドへ集合すること。
- 9 打者・走者・ランナーコーチのヘルメット、金属バット、捕手の防具は、全て連盟公認のものを使用すること。
- 10 ファウルボールの処理は、ボールの飛んだ側のベンチで処理し、バックネット側は、原則として攻撃側にて処理すること。
- 11 ベース盤は、固定とする。
- 12 D.E（ディ. エントリー）制を適用する。
《D.E制について》
 1. 「D.E」と球審に宣言し、1打席のみ出場できる。
 2. D.E選手は、1回の打席を完了しなければならない。
なお、出塁した場合、走者として本塁ベースを踏むか、攻撃イニングが終了するまで交代できない。
 3. 守備には就くことができない。（D.E通告前の選手が守備に就くこと。）
 4. どの回、どの打順でも出場できる。
 5. 走者のアウトで打撃が完了しなかった場合、再度、指名を受けることができる。
 6. 監督は、「D.E」か「代打」かを明確に球審へ通知すること。
- 13 試合前のシートノックは行わない。
- 14 イニングの先頭打者は、準備投球中、ネクストバッターズサークル内で待機すること。
- 15 ネクストバッターズサークル内では、立った状態でバットを下ろして待機すること。
- 16 試合中における選手の補助（控え選手との投球練習・準備投球の代理捕手など）は、原則として控え選手が行うこととするが、補助できる選手がいない等の申し出があれば、背番号を付けたコーチが補助することを可能とする。

【チーム・選手に関すること】

- 17 ベンチ入り選手は、1チーム20名以内とし、背番号を付けること。
監督・コーチの背番号は、30・29・28とし、ベンチ入りは6名以内とすること。

- 18 試合前の先攻・後攻決めにあたっては、監督・主将が大会本部へ集合し、メンバー表を4部（大会本部用・球審用・相手チーム用・自チーム用）提出すること。（メンバー表には、監督名・主将名・選手ふりがな・控え選手等、明確に記入すること。）
記入の無い選手は、試合に出場できません。
当日、代理監督で試合を行う場合、メンバー表へ代理監督者の名前を記入のうえ、提出時に大会本部・球審・相手チームに伝えること。
- 19 選手交代、判定に対するアピール等は、監督（代理監督を含む）、及びプレーに関わった当該選手が行うこと。
- 20 本年度は、開会式を行いますので、参加チームは団旗・プラカードを準備願います。
- 21 選手は、スポーツ保険に加入していること。

【表彰】

- 22 表彰は、優勝・準優勝・3位とする。

【その他】

- 23 試合前の練習におけるフルスイングでのバッティング練習は、危険防止の観点から禁止とする。
- 24 グラウンド内外を問わず、万一負傷などの事故が発生した場合、応急処置は行うものの、その後の治療等については、主催者側はその責を負わない。
- 25 大会を通じて選手は、スポーツマンとしてのマナーを守り、正々堂々とプレーすること。
- 26 グラウンド（応援席含む）には、ゴミ等を残さず、必ずチームで持ち帰ること。

（本大会の問い合わせ先） 碧南少年野球育成連盟 事務局長 杉浦 吉行
携 帯 090-4084-6131
碧南少年野球育成連盟 運営委員長 阿知波 健二
携 帯 090-6581-1176